



山本 美智夫

Yamamoto Michio

冬の間イルミネーションの
まばゆい光に包まれるハート広場



イルミって、いいね!
倶楽部の仲間と



山本美智夫さん(上水田)

イルミって、いいね!倶楽部の発起人で現代表。『若者が集まれる温かいイルミ、エコなイルミ、公費は使わないイルミ』をコンセプトに、仲間と工夫してイルミネーションを運営。ワイテック工業(株)の代表取締役。近年の趣味はロードバイクでロングライド。

真

MANI WABITO

庭

人

始まりは一人から

12月初旬、ひときわ目を引くきらびやかな空間が上水田に現れます。今年で8回目を迎える真庭イルミネーションinハート広場です。設営や運営を行う『イルミって、いいね!倶楽部』代表の山本美智夫さんは「ここまで来られたのは、多くの仲間と企業の皆さんと地元の人たちのご協力があったからこそ」と言います。

もともと山本さんがイルミネーションを始めたのは今から17年前。以降も毎年自宅に飾っていましたが、もっとみんなに楽しんでもらいたいと、10年前、国道バイパス沿いに大きなツリーのイルミネーションを飾りました。「毎晩見に来ていた

3歳くらいの子が、帰る時に明かりが見えなくなるまでずっと振り返って見ていた顔が忘れられない」と話します。しかし、高所作業車で夜遅くまで一人で作業するのはとても大変で、3年間続けたい頃、やめることが頭をよぎったそうです。

みんなの手で作り上げるイルミネーションに

そんな山本さんに転機が訪れます。地元の知り合いが、手伝わせてほしいと声を掛けてくれたのです。やる気に火が付いた山本さんは「冬になると真っ暗で寂しいコスモス広場を、イルミネーションでにぎやかにしたい」と構想を膨らませ、仕事仲間や飲み友達などを誘い、「イルミって、いいね!倶楽部」を結成。メンバーの

知り合いや地元企業なども加わり、延べ500人がハートのオブジェやペットボトルタワーの製作などに関わり、手作りのイルミネーションが完成しました。そして、広場は市内外から多くの人が訪れるスポットに。「点灯式で、ペットボトルタワーの明かりがついたとき、みんながわあって言うでしょ。あれが僕らが一番うれしい瞬間。これからも見る人の心に感動を呼ぶものができたら」と笑顔で語ってくれました。

「点灯式で、ペットボトルタワーの明かりがついたとき、みんながわあって言うでしょ。あれが僕らが一番うれしい瞬間。これからも見る人の心に感動を呼ぶものができたら」と笑顔で語ってくれました。

